

(別添 3)

【伊奈町】 校務DX計画

1 これまでの取組

伊奈町では、令和2年度末に全児童生徒に1人1台端末を配付、指導者も同様の端末を授業等で活用できるように整備しており、これまでの言語活動や体験活動、問題解決的な学習などを重視した実践と、ICTとのベストミックスを図り、教育活動に取り組んでおります。併せて、校務用端末の整備を進めており、令和5年度には校務用端末の更新を行いました。各学校においては、学習用端末及び校務用端末それぞれを活用した、校務のデジタル化による業務改善に取り組んでまいりました。

2 校務のデジタル化の推進

令和3年度から校務用端末に統合型校務支援システムを導入、令和4年度より本格的な運用を開始しました。当該システムのグループウェア機能により各学校間、学校・町教育委員会間での文書やメッセージの送付、報告、連絡等に活用しています。校内でのスケジュール管理や掲示板での連絡事項の周知も行うことができ、円滑な情報共有が可能となっております。また、システムにおいて出欠や学習記録等、児童生徒情報を適切に管理し、その情報から指導要録や通知表等、各種帳票を作成するなど、データ連携による校務の効率化が図られております。

なお、現在のシステムの契約期間は令和8年度までとなっており、今後の更改に向けたシステム内容の確認や検討を進めてまいります。

3 学習支援ソフト等の導入

令和3年度から学習用端末に学習支援ソフトを導入し、児童生徒の基礎学力の定着から主体的・対話的で深い学びへつながる学習まで、様々な学習活動において効果的な活用が図られております。併せて、端末自体の各種アプリケーションや学習eポータルサイト等を活用しており、教師による児童生徒の学習状況の把握や個別最適な学びの支援等につながっております。

なお、当該のシステムは令和3年度から令和5年度の契約から更新し、現在、令和6年度から令和8年度までの契約としています。学習における効果や児童生徒、教師の活用のしやすさを鑑み、今後の更改を検討してまいります。

4 ペーパーレス化の推進

令和6年度現在、学校から町教育委員会への書類や資料の提出は、紙面での提出が必要な場合を除いて、電子データによるものとしております。また、各学校におきましても、職員会議等の資料データを共通のフォルダに保存して、全職員が閲覧できるようにしたり、研修時に端末上で共同編集しながら検討を進めたりするなど、ペーパーレス化を推進しております。

今後も学校現場の業務改善を図るためのペーパーレス化及び電子化を検討してまいります。